

水稲葉いもち病現地確認調査結果
調査年月日: 令和6年7月9日

調査場所	品種	A	B	C	D	E	発病度	発病程度	発病株率	発病ほ場	発生ほ場率	備考
1 明石市大久保町江井島2142~2143	ヒノヒカリヘアリーベッチ	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0			ヘアリーベッチ
2 明石市大久保町松陰1591-1~2	ヒノヒカリ	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0			
4 明石市魚住町金ヶ崎830-1	コシヒカリ	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0			
5 明石市二見町東二見原寺341-1	あきたこまち	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0			
6 播磨町二子上松523-2	にこまる	0	0	0	3	22	3.0	少	12.0	○		
7 稲美町加古5257	ヒノヒカリ	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0			
8 稲美町琴池1694, 1695-1	キヌヒカリ	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0			
9 稲美町印南1106	ヒノヒカリ	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0			
10 加古川市八幡町中西条151	ヒノヒカリ	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0			
11 加古川市平荘町磐1310	キヌヒカリ	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0			
12 加古川市西神吉町宮前1010・1011・1012	きぬむすめ	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0			
13 高砂市阿弥陀町阿弥陀石淵914・915	ヒノヒカリ	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0			
14 高砂市松陽833	ヒノヒカリ	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0			
15 加古川市平岡町二俣187-1	ヒノヒカリ	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0			
16 加古川市尾上町養田1-45	ヒノヒカリ	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0			
17 加古川市野口町水足1871	ヒノヒカリ	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0			
合計	16	0	0	0	3	397			0.8	1		
平均		0.0	0.0	0.0	0.2	24.8	0.2	少	0.8		6%	
明石市・播磨町地区合計	5	0	0	0	3	122			2.4	1		
明石市・播磨町地区平均		0.0	0.0	0.0	0.6	24.4	0.6	少	2.4		20%	
稲美町地区合計	3	0	0	0	0	75			0.0	0		
稲美町地区平均		0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	無	0.0		0%	
加古川市中北部地区合計	3	0	0	0	0	75			0.0	0		
加古川市中北部地区平均		0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	無	0.0		0%	
高砂市・加古川市南部地区合計	5	0	0	0	0	125			0.0	0		
高砂市・加古川市南部地区平均		0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	無	0.0		0%	

葉いもち

発病程度

- A: 下葉は枯死し、ずり込み症状を呈する。(病斑面積率50%以上)
- B: かなり病斑が見られ軽いずり込み症状を呈する。(病斑面積率10%程度)
- C: 病斑がかなり見られる。(病斑面積率2%程度)
- D: 病斑がわずかに見られる。(病斑面積率0.5%程度)
- E: 病斑なし

発病度

$$\frac{(4 \times A + 3 \times B + 2 \times C + D) \times 100}{4 \times \text{調査株数}}$$

発病程度別基準

程度	無	少	中	多	甚
発病度	0	1~20	21~40	41~70	71以上

要防除密度の目安

- いもち病の発生は気象条件に大きく影響される。発病に好適な条件では短時間に激発することがあるので、早期発見に努め、適期防除を行う。
- 1 育苗から植付直後まで高温多雨で、苗に症状が認められたら直ちに防除する。
 - 2 本田で、5~6月の高温多雨少照、7月~成熟期の低温多雨少照の条件では多発しやすい。

別紙2

水稻紋枯病現地確認調査結果
調査年月日: 令和6年7月9日

調査場所	品種	A	B	C	D	E	発病度	発病程度	発病株率	発病ほ場	要防除密度	発生ほ場率	備考
1 明石市大久保町江井島2142~2143	ヒノヒカリヘアリーベッチ	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0				
2 明石市大久保町松陰1591-1~2	ヒノヒカリ	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0				
3 明石市魚住町金ヶ崎830-1	コシヒカリ	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0				
4 明石市二見町東二見原寺341-1	あきたこまち	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0				
5 播磨町二子上松523-2	にこまる	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0				
6 稲美町加古5257	ヒノヒカリ	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0				
7 稲美町琴池1694, 1695-1	キヌヒカリ	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0				
8 稲美町印南1106	ヒノヒカリ	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0				
9 加古川市八幡町中西条151	ヒノヒカリ	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0				
10 加古川市平荘町磐1310	キヌヒカリ	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0				
11 加古川市西神吉町宮前1010・1011・1012	きぬむすめ	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0				
12 高砂市阿弥陀町阿弥陀石淵914・915	ヒノヒカリ	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0				
13 高砂市松陽833	ヒノヒカリ	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0				
14 加古川市平岡町二俣187-1	ヒノヒカリ	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0				
15 加古川市尾上町養田1-45	ヒノヒカリ	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0				
16 加古川市野口町水足1871	ヒノヒカリ	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0				
合計	16	0	0	0	0	400			0.0	0			
平均		0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	無	0.0			0%	
明石市・播磨町地区合計	5	0	0	0	0	125			0.0	0			
明石市・播磨町地区平均		0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	無	0.0			0%	
稲美町地区合計	3	0	0	0	0	75			0.0	0			
稲美町地区平均		0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	無	0.0			0%	
加古川市中北部地区合計	3	0	0	0	0	75			0.0	0			
加古川市中北部地区平均		0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	無	0.0			0%	
高砂市・加古川市南部地区合計	5	0	0	0	0	125			0.0	0			
高砂市・加古川市南部地区平均		0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	無	0.0			0%	

紋枯

発病程度

A: 株の半数以上の茎が発病し、そのほとんどが止葉から穂くびまで侵され、止葉が枯死の状態を呈する。

B: 株の半数以上の茎が発病し、大部分の病斑が止葉葉鞘まで達しているが、止葉は生色がある。

C: 株の半数以上の茎が発病し、大部分の病斑が第2葉鞘まで達している。

D: 病斑が第3葉鞘まで達している。

E: 全く発病を認めない、または第4葉鞘以下の発病。

発病度

$$\frac{(4 \times A + 3 \times B + 2 \times C + D) \times 100}{4 \times \text{調査株数}}$$

発病程度別基準

程度	無	少	中	多	甚
発病度	0	1~20	21~40	41~70	71以上

要防除密度の目安

穂ばらみ期における発病株率が20%を超える場合は防除する。

別紙3

水稻縞葉枯病現地確認調査結果
調査年月日: 令和6年7月9日

調査場所	品種	A	B	C	D	E	発病度	発病程度	発病株率	発病程度	発病ほ場	経済的被害許容水準	発生ほ場率	備考
1 明石市大久保町江井島2142~2143	ヒノヒカリヘアリーベッチ	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0	無				
2 明石市大久保町松陰1591-1~2	ヒノヒカリ	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0	無				
3 明石市魚住町金ヶ崎830-1	コシヒカリ	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0	無				
4 明石市二見町東二見原寺341-1	あきたこまち	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0	無				
5 播磨町二子上松523-2	にこまる	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0	無				
6 稲美町加古5257	ヒノヒカリ	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0	無				
7 稲美町琴池1694, 1695-1	キヌヒカリ	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0	無				
8 稲美町印南1106	ヒノヒカリ	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0	無				
9 加古川市八幡町中西条151	ヒノヒカリ	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0	無				
10 加古川市平荘町警1310	キヌヒカリ	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0	無				
11 加古川市西神吉町宮前1010・1011・1012	きぬむすめ	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0	無				
12 高砂市阿弥陀町阿弥陀石淵914・915	ヒノヒカリ	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0	無				
13 高砂市松陽833	ヒノヒカリ	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0	無				
14 加古川市平岡町二俣187-1	ヒノヒカリ	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0	無				
15 加古川市尾上町養田1-45	ヒノヒカリ	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0	無				
16 加古川市野口町水足1871	ヒノヒカリ	0	0	0	0	25	0.0	無	0.0	無				
合計	16	0	0	0	0	400			0.0		0			
平均		0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	無	0.0	無			0%	
明石市・播磨町地区合計	5	0	0	0	0	125			0.0		0			
明石市・播磨町地区平均		0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	無	0.0	無			0%	
稲美町地区合計	3	0	0	0	0	75			0.0		0			
稲美町地区平均		0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	無	0.0	無			0%	
加古川市中北部地区合計	3	0	0	0	0	75			0.0		0			
加古川市中北部地区平均		0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	無	0.0	無			0%	
高砂市・加古川市南部地区合計	5	0	0	0	0	125			0.0		0			
高砂市・加古川市南部地区平均		0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	無	0.0	無			0%	

縞葉枯

発病程度

- A: 株のほとんどの茎が発病している。
- B: 株の2/3以上の茎が発病している。
- C: 株の1/3~2/3の茎が発病している。
- D: 株の1/3以下の茎が発病している。
- E: 発病が認められない。

発病度

$$\frac{(4 \times A + 3 \times B + 2 \times C + D) \times 100}{4 \times \text{調査株数}}$$

発病程度別基準

程度	無	少	中	多	甚
発病株率(%)	0	1~20	21~40	41~70	71以上
発病度	0	1~5	6~11	11~30	31以上

要防除密度の目安

イネ縞葉枯病の発病は、媒介虫であるヒメビウンカのウイルス保毒率と発生量の双方が関係する。
対象地域(またはほ場)の保毒虫率が1%であれば、①6月上~中旬(第1世代成虫)が10株当たり3頭以上、
②6月下旬~7月中旬(第1世代成虫+第2世代幼虫)が10株当たり30頭以上で防除を行う。
保毒虫率が10%の場合は上記虫数の10分の1を目安とする
(注)水稻にウイルスを感染、発病させるヒメビウンカは、主に第1世代成虫(6月上~下旬)、
第2世代幼虫(6月下~7月中旬)および第2世代成虫(7月中~下)なので、本田ではこの世代を重点に防除を行う。
第1世代虫の増殖源となるムギ類の防除(5月上旬~)も有効である。
水稻における経済的被害許容水準(減収率5%)は、出穂期の発病株率で約20%である。

別紙4

水稲病害現地確認調査結果
調査年月日:令和6年7月9日

調査場所	品種	ばか苗病						備考	もみ枯細菌病						備考	稲こうじ病						備考	その他				
		A	E	発病株率	発病程度	発病ほ場	発生ほ場率		A	E	発病株率	発病程度	発病ほ場	発生ほ場率		発病穂率	発病程度	A	E	発病株率	発病程度			発病ほ場	発生ほ場率		
1 明石市大久保町江井島2142~2143	ヒノヒカリヘアリーベッチ	0	25	0.0	無									0.0	無												
2 明石市大久保町松陰1591-1~2	ヒノヒカリ	0	25	0.0	無									0.0	無												
3 明石市魚住町金ヶ崎830-1	コシヒカリ	0	25	0.0	無									0.0	無												
4 明石市二見町東二見原寺341-1	あきたこまち	0	25	0.0	無									0.0	無												
5 播磨町二子上松523-2	にこまる	0	25	0.0	無									0.0	無												
6 稲美町加古5257	ヒノヒカリ	0	25	0.0	無									0.0	無												
7 稲美町琴池1694, 1695-1	キヌヒカリ	0	25	0.0	無									0.0	無												
8 稲美町印南1106	ヒノヒカリ	0	25	0.0	無									0.0	無												
9 加古川市八幡町中西条151	ヒノヒカリ	0	25	0.0	無									0.0	無												
10 加古川市平荘町盤1310	キヌヒカリ	0	25	0.0	無									0.0	無												
11 加古川市西神吉町宮前1010・1011・1012	きぬむすめ	0	25	0.0	無									0.0	無												
12 高砂市阿弥陀町阿弥陀石淵914・915	ヒノヒカリ	0	25	0.0	無									0.0	無												
13 高砂市松陽833	ヒノヒカリ	0	25	0.0	無									0.0	無												
14 加古川市平岡町二俣187-1	ヒノヒカリ	0	25	0.0	無									0.0	無												
15 加古川市尾上町養田1-45	ヒノヒカリ	0	25	0.0	無									0.0	無												
16 加古川市野口町水足1871	ヒノヒカリ	0	25	0.0	無									0.0	無												
合計	16	0	400	0.0	無	0								0	400	0.0	無	0									
平均		0.0	25.0	0.0	無	0%								0.0	25.0	0.0	無	0%									
明石市・播磨町地区合計	5	0	125	0.0	無	0								0	125	0.0	無	0									
明石市・播磨町地区平均		0.0	25.0	0.0	無	0%								0.0	25.0	0.0	無	0%									
稲美町地区合計	3	0	75	0.0	無	0								0	75	0.0	無	0									
稲美町地区平均		0.0	25.0	0.0	無	0%								0.0	25.0	0.0	無	0%									
加古川市中北部地区合計	3	0	75	0.0	無	0								0	75	0.0	無	0									
加古川市中北部地区平均		0.0	25.0	0.0	無	0%								0.0	25.0	0.0	無	0%									
高砂市・加古川市南部地区合計	5	0	125	0.0	無	0								0	125	0.0	無	0									
高砂市・加古川市南部地区平均		0.0	25.0	0.0	無	0%								0.0	25.0	0.0	無	0%									

ばか苗
発病程度
A:発生がみられる。
E:発生がみられない。

$$\frac{\text{発病株数}}{\text{調査株数}} \times 100$$

発病程度別基準						発病程度別基準					
程度	無	少	中	多	甚	程度	無	少	中	多	甚
発病株率(%)	0	1~5	6~15	16~30	31以上	発病種率(%)	0	1~10	11~30	31~60	61以上

もみ枯細菌
発病程度
A:発生がみられる。
E:発生がみられない。

$$\frac{\text{発病種数}}{\text{調査種数}} \times 100$$

稲こうじ
発病程度
A:発生がみられる。
E:発生がみられない。

$$\frac{\text{発病株数}}{\text{調査株数}} \times 100$$

発病程度別基準					
程度	無	少	中	多	甚
発病株率(%)	0	1~5	6~15	16~30	31以上

